

いつもお世話になります。ロンドンオリンピックの感動を胸に「よし、自分も頑張ろう」と意気込んだのは2ヶ月程前のことなのに、早くもあの熱意が冷めかけている……。情熱をキープするのは難しいものです。自分を奮い立たせ続けるコツは、日々の生活の中で「小さな感動を積み重ねること」なのかもしれませんね。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：株式公開買い付け（TOB）】

企業の経営権の取得などを目的として、新聞広告などに一定の価格で一定の期間に一定の株数を買取することを表明し、不特定多数の株主から一挙に株式を取得する方法のこと。take-over bid（テーク・オーバー・ビッド）の略でTOBと呼ばれる。TOBには買収される側が株の買い集めに不同意にもかかわらず、一方的に株式の買い付けを宣言する「敵対的TOB」、買収される側が株式の購入に協力的な「友好的TOB」がある。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【所得控除が最大10万円から12万円へ拡充!】

生命保険料控除制度が改正されました。改正前の生命保険料控除は、「一般生命保険料控除」と「個人年金保険料控除」でした。控除の適用限度額は、一般生命保険料控除として、所得税5万円・住民税3.5万円。個人年金保険料控除として、所得税5万円・住民税3.5万円。合わせると控除は最大で、所得税10万円・住民税7万円でした。改正後は、「介護医療保険料控除」が新設されました。介護医療保険料とは、入院や通院などにもなう給付部分に関連する保険料になります。改正後の控除の適用限度額は、一般生命保険料控除として、所得税4万円・住民税2.8万円。個人年金保険料控除として、所得税4万円・住民税2.8万円。そして介護医療保険料控除として、所得税4万円・住民税2.8万円。3つを合わせた控除は最大で、所得税12万円・住民税7万円となります。



改正後の制度は、平成24年1月1日以後に締結した保険契約より適用されます。

平成23年12月31日までに締結した保険契約については、改正前の制度が適用されます。なお、平成23年12月31日以前に締結した契約であっても、平成24年1月1

日以後に更新や特約中途付加などを行った場合は、改正後の制度が適用されます。また、改正前と改正後の保険契約が混在する場合の控除額の計算は、納税者が有利なものを選択することができます。

今を生きる 先人の言葉

才能とは持続
することである

日本画家である平山郁夫の言葉。
始めることは誰にでもできるが、
それを続けることができる者は
少ない。一つのことを続けられる
能力を「才能」と呼ぶのであろう。

トレンドを斬る!

「マーケティングを無視し、醸造職人たちの究極のこだわりで造り上げたプレミアムビール」として話題の『グランドキリン』

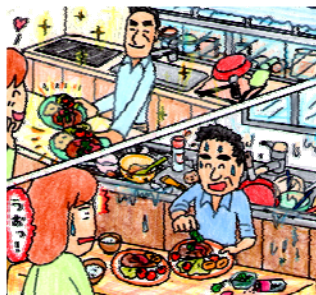
が好調です。キリンの商品でも最大量の麦芽を使用し、独自の製法で重厚感のある飲み応えや香味、深い余韻を実現したこのビールは、発売1ヶ月で年間販売目標の約60%を達成しました。売れる理由は、「職人のこだわりの味」なのか、それとも「マーケティングを無視したプレミアムビール」という話題なのか。グランドキリンの今後に注目です。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【焦って頭が真っ白になってしまったら】

最近料理を楽しむ男性が増えました。料理と仕事は通じているところがあり、「要領の良さ・悪さ」がはっきり表れます。野菜を茹でながら肉を焼いて、料理が仕上がると同時に洗い物まで終わっている要領の良い



人もいれば、一品作るだけで台所が地獄絵図のような有様になる人もいます。これを仕事に置き換えれば「なるほど」と納得するでしょう。要領が良い・悪いは性格や考え方にもよりますが、焦るあまりに緊張して要領が悪くなってしまふような場合には、誰にでもできる対処法があります。それは、「とりあえず席を立つこと」です。

人間の脳には「ワーキングメモリ」という機能があります。一時的な記憶を覚えておく場所で、いくつかの知的作業を併行して行うときに活躍します。ワーキングメモリの使い方が上手な人は一度に3つくらいの作業を併行できますが、野菜を茹でながら肉を焼ける要領の良い人でも、横で奥さんが「実はね・・・」と深刻な話を始めたらたまりません。急激なストレスは一気にワーキングメモリの容量を低下させ、物事を併行して考えるのが面倒臭くなるため作業効率が落ち、最悪のケースでは考えること自体が嫌になり頭が真っ白になってしまうことも。メモリの容量オーバーでパソコンがフリーズした状態と同じようなことが脳で起こるわけです。適度な緊張感には身が引き締まりますが、「失敗したらどうしよう」という不安や心配が大きいとワーキングメモリが上手に働かなくなり、ここぞというときに実力を発揮できません。焦って要領が悪くなったら、「ちょっと失礼します」と席を立って仕切り直し。

つまり、リセットです。フリーズしたパソコンが再起動で復活するように、席を立ってその場から離れるとワーキングメモリは一旦復活して、再び冷静になれます。大事な場面で席を立つのは勇気がいることですが、思考回路がフリーズしてしまつたら商談が失敗してしまうかもしれません。そうなる前に「ちょっと失礼します」で風向きを変え、自分のペースに軌道修正というのもひとつの方法です。



MC S 税理法人立川事務所

〒190-0023

立川市柴崎町 3-11-4 千代田生命立川ビル 4 階

電話：042-595-7671 F A X：042-528-6949

<http://www.mcs-office.jp>

mail：info@mcs-office.jp



MC S 税理士法人立川事務所所長の税理士舛田です。様々なご相談に親身になってお答えいたしますのでお気軽にお問い合わせください。お問い合わせは無料です。